

2026 年度 CoSTEP 公開シンポジウム

スッキリしない開講式——「もやもや」から始める学問と科学技術コミュニケーション

【概要】

北海道大学教育イノベーション機構 教育開発センター 科学技術コミュニケーション教育研究ユニット (CoSTEP) は、2026 年度 CoSTEP 開講式の公開シンポジウムとして、学問論・大学論を専門とする宮野公樹 (みやのなおき) さん (京都大学 学際融合教育研究推進センター 准教授/公益財団法人 国際高等研究所 主任研究員/一般社団法人 STEAM Association 代表理事) をお招きし、「スッキリしない開講式——『もやもや』から始める学問と科学技術コミュニケーション」を開催します。

宮野さんは、京都大学での大学運営や文部科学省での経験を経て、「そもそも学問とは何か」「科学とは我々にとっていかなる存在か」という問いに向き合うようになりました。公開シンポジウムでは、「問い」を出発点とした学びや思考のあり方についてお話しいたします。

【趣旨】

すぐには言葉にならない違和感や、整理しきれない思考——いわば「もやもや」。スッキリしないまま抱え続けるのは、決して心地よいものではありません。それでも、それは本当に解消すべきものなのでしょうか。現代社会では「課題解決」や「成果」が強く求められ、科学技術コミュニケーションの現場でも、分かりやすく伝えることや、早く答えを届けることが期待されがちです。しかし、学問や科学技術コミュニケーションの出発点には、答えのない問いや違和感があるのかもしれない。

公開シンポジウムでは、「問いとは何か」「なぜ私たちは答えを急いでしまうのか」といったテーマを手がかりに、科学や研究を社会に伝えるとはどういうことかについて考えます。結論を提示する講演ではありません。問いを投げかけ続ける語りを通して、参加者が自分自身の「もやもや」と向き合い、それぞれの問いを考える時間となることを目指します。

言葉にならない「もやもや」を出発点に、学問と科学技術コミュニケーションの可能性について、一緒に考えてみませんか。

【タイトル】 2026 年度 CoSTEP 公開シンポジウム

「スッキリしない開講式

——『もやもや』から始める学問と科学技術コミュニケーション」

【日時】 2026 年 5 月 9 日 (土) 13:00~14:40 (開場 12:45)

【場所】 北海道大学 札幌キャンパス 総合教育棟 (旧・高等教育推進機構) 1F Sky HALL
(〒060-0817 北海道札幌市北区北 17 条西 8 丁目)

【ゲスト】 宮野公樹さん (京都大学 学際融合教育研究推進センター 准教授/公益財団法人 国際

高等研究所 主任研究員／一般社団法人 STEAM Association 代表理事)

- 【聞き手】** 古澤正三（北海道大学 教育イノベーション機構 CoSTEP 特任講師）
- 【主催】** 北海道大学 教育イノベーション機構 教育開発センター 科学技術コミュニケーション教育研究ユニット（CoSTEP）
- 【対象】** どなたでもご参加いただけます
- 【人数】** 先着 150 名
- 【参加費】** 無料（申し込み不要）
- 【開催形式】** 対面のみ
- 【Webサイト】** <https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/event/36589>

【取材申込】 取材ご希望の方は、事前に下記お問い合わせ先にご連絡ください。

お問い合わせ先

北海道大学教育イノベーション機構 教育開発センター

科学技術コミュニケーション教育研究ユニット（CoSTEP） 担当：古澤正三（ふるさわしょうぞう）

T E L 011-706-5320 F A X 011-706-5320

メール s.furusawa@open-ed.hokudai.ac.jp

U R L <https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/event/36589>

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp

スッキリしない開講式



2026年度
北海道大学CoSTEP
公開シンポジウム

「もやもや」から始める学問と 科学技術コミュニケーション

会場
北海道大学 札幌キャンパス 総合教育棟 (旧・高等教育推進機構) 1F Sky HALL
北海道札幌市北区北17条西8丁目
本公開シンポジウムは2026年度CoSTEPの開講特別プログラムの一部であり、一般の方にも公開しています。

2026 SAT
5/9
13:00 ~ 14:40
受付・開場 12:45

定員 150名
一般公開
入場無料



スッキリしない開講式

「もやもや」から始める学問と科学技術コミュニケーション

すぐには言葉にならない違和感や、整理しきれない思考——いわば「もやもや」。スッキリしないまま抱え続けるのは、決して心地よいものではありません。それでも、それは本当に解消すべきものなのでしょうか。現代社会では「課題解決」や「成果」が強く求められ、科学技術コミュニケーションの現場でも、わかりやすく伝えることや、早く答えを届けることが期待されがちです。しかし、学問や科学技術コミュニケーションの出発点には、答えのない問いや違和感があるのかもしれない。

2026年度CoSTEP開講式では、学問論・大学論を専門とする宮野公樹さん(京都大学 学際融合教育研究推進センター 准教授)をお招きし、「スッキリしない開講式——『もやもや』から始める学問と科学技術コミュニケーション」を開催します。宮野さんは、答えを出すことよりも、問いを持ち続けることの意味を語り続けてきました。

公開シンポジウムでは、「問いとは何か」「なぜ私たちは答えを急いでしまうのか」といったテーマを手がかりに、科学や研究を社会に伝えるとはどういうことかについて考えます。言葉にならない「もやもや」を出発点に、学問と科学技術コミュニケーションの可能性について、一緒に考えてみませんか。



講師

宮野 公樹(みやの なおき)さん

京都大学 学際融合教育研究推進センター 准教授
公益財団法人 国際高等研究所 主任研究員
一般社団法人 STEAM Association 代表理事

1973年石川県生まれ。博士(工学:立命館大学)。学問論、大学論(かつては金属組織学、ナノテクノロジー)。総長学事補佐、文部科学省学術調査官の業務経験も。2008年日本金属学会論文賞等の複数の学術系表彰の他、2026年内閣府主催第8回日本オープンイノベーション大賞にて日本学術会議会長賞受賞も。2022年から日経STEAMアドバイザー。著書「学問からの手紙」(小学館)、「研究を深める5つの問い」(講談社ブルーバックス)、「問いの立て方」(ちくま新書)、他。2025年5月、NHKによる7ヶ月間の密着取材がドキュメンタリー番組となって放送(ETV特集「ねちねちと、問うーある学者の果なき対話ー」)。

聞き手

古澤正三

北海道大学
CoSTEP特任講師

日時	2026年5月9日(土)13:00~14:40	13:00~13:05	開会のあいさつ
開場・受付	12:45	13:05~14:35	イントロダクション
場所	北海道大学 札幌キャンパス 総合教育棟 (旧・高等教育推進機構) 1F Sky HALL		公開シンポジウム 質疑応答
参加費	入場無料(申し込み不要、先着150名)	14:35~14:40	閉会のあいさつ
開催形式	対面のみ 一般の方もご参加頂けます。		

問い合わせ先

北海道大学 教育イノベーション機構 教育開発センター
科学技術コミュニケーション教育研究ユニット(CoSTEP)

〒060-0817 北海道札幌市北区北17条西8丁目 北海道大学総合教育棟(旧・高等教育推進機構)
N163A CoSTEP 事務室 e-mail costep_office@ml.hokudai.ac.jp

